



2018年7月14日「奥浅草だより」第7号

## 近頃都にはやる一人本屋

本離れによる書店の閉鎖が加速する昨今、個性的な一人経営の書店が都会のあちこちにオープンしています。出版社、新聞社、IT などから脱サラした40代の男性が多く、つけた店名もとてもユニークです。一人なので店は狭いです。結構繁盛していて客層は男女問わず若者が多いのはネット時代の効果もあるでしょう。

先日、何十年もやっている本屋の店主と話をしたところ、店内にひととおり並べていてもほとんど売れないと言います。そのあいだも客は店頭の雑誌を買って行くだけでした。他店も同様です。

最近現れた新しいタイプの一人経営の書店は、従来の流通方式や一定の分類・配列にこだわらず、独自の視点で運営しているので店主の満足度は高いのでしょう。自分が読みたい本、または読んでほしい本を厳選し、立地にあった選択もしている様子が見られます。注目度が高いわけです。

<b>カストリ書房</b>	台東区千束4-39-3 (11:00-18:00、月曜休)
<b>Readin' Writin'</b>	台東区寿2-4-7 (12:00-18:00、月曜休)
<b>H. A. Bookstore</b>	台東区蔵前4-20-10宮内ビル4F (12:00-17:00、土日のみ営業)
<b>書肆(しょし)スーベニア</b>	墨田区向島2-19-11プブレ墨田公園1F (12:00-21:00、月火休)
<b>古書ドリス</b>	台東区根岸3-2-6sakura1F (11:00-19:00、水曜休)
<b>河合書店</b>	台東区浅草2-7-13 西参道内 (9:00-18:00、不定休)

台東区循環バス「めぐりん」(一日乗車券乗り放題300円あり)に乗り降りしながら、隅田川散策も兼ねて上記の書店を訪れてみるのも一興でしょう。(雷門前の観光案内所にバスの路線地図あり)

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

この「奥浅草だより」は、『奥浅草 地図から消えた吉原と山谷』の制作でとくにお世話になった方々に不定期にお送りしております。他にご関心のある方にもお送りしますのでお知らせ下さい。

著者・佐野陽子=江原晴郎、編集・森下恒子 [info@sanox.co.jp](mailto:info@sanox.co.jp)

サノックスのホームページでもご覧になれます。<http://www.sanox.co.jp>